



経営戦略に基づく補助事業計画の考え方

(第1回)

2026/9/30

1.0版

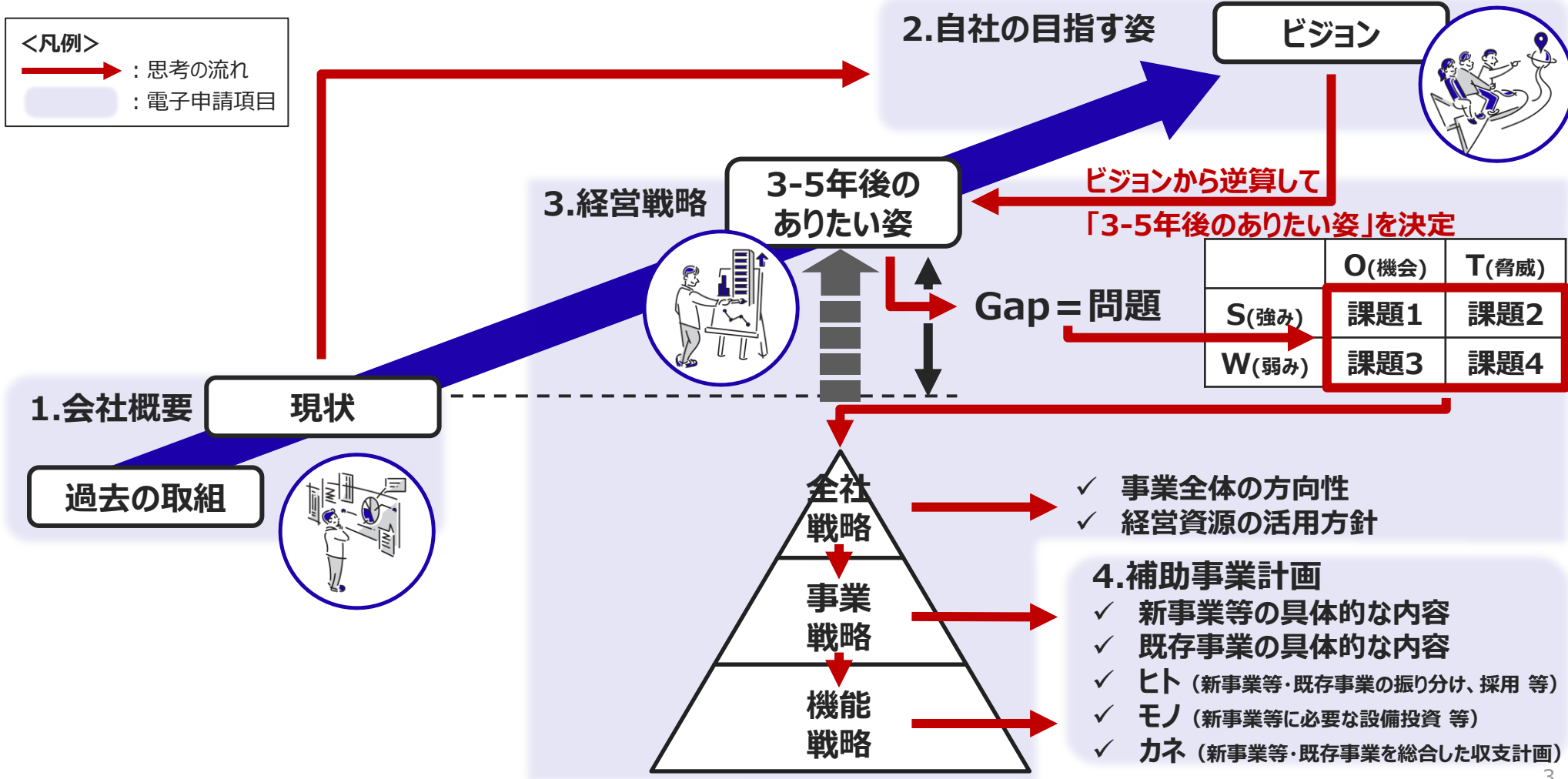
新事業進出・ものづくり商業サービス補助金事務局

本資料の位置付け

- 本事業は、中小企業等が行う、**技術的革新性のある製品・サービスの開発**や**既存事業とは異なる新市場・高付加価値事業への進出**、**海外市場開拓(輸出)に向けた国内の輸出体制の強化**を後押しすることで、中小企業等が企業規模の拡大・付加価値向上を通じた生産性向上を図り、**賃上げにつなげていくことを目的**とします。
- 補助事業の事業計画作成に当たっては、**自社の目指す姿・経営戦略との整合性**があり、**これまでに培った強みを活用**することで、補助事業の**実現可能性が高い計画であることが重要**です。
- これらを踏まえ、“**ありたい姿**”の実現に向けた考え方、事業計画パートの申請項目全体像をお示しますので、検討の際に参照してください。

事業計画の作成にあたって

- 「1.会社概要」で現状と過去を取組を振り返り、「2.自社の目指す姿」でビジョンを明確化した上で、3～5年後のありたい姿と現状のギャップ(=問題)から課題を抽出します。
- 抽出した課題の中から「3.経営戦略」として事業全体の方向性・経営資源の活用方針を導き出した上で、具体的な「4.補助事業計画」を策定します。



リンク集

- 補助事業の計画作成に際し、参考となる情報のリンクをお示しいたしますのでご活用ください。

参考情報	概要	申請項目との関連性		
		②自社の 目指す姿	③経営戦略	④補助事業の 計画
マンガでわかる「経営デザインシート」 *1	中期的な「あるべき姿」とそこへの道筋、これまでの提供価値を踏まえた固有の強みの整理、具体的な数値目標・施策への落とし込みを網羅的に解説	●	●	-
未来予想図を描こう～「経営ビジョン」から「経営計画」へ～ *2	10年先のビジョンを描くことの重要性と、ビジョン言語化の具体的な手順を解説	●	●	-
経営計画策定支援スライド *3	「あるべき姿」から施策・数値目標へ落とし込む流れを解説	●	●	-
企業の健康診断ツール「ローカルベンチマーク」 *4	財務6指標＋商流・業務フロー・4つの視点(非財務)で自社の現状を網羅的に可視化するツール	●	●	-
マンガでわかる「SWOT分析」 *1	S(強み)・W(弱み)・O(機会)・T(脅威)のフレームワーク、現状分析～経営課題の抽出手法を解説	-	●	-
マンガでわかる「経営計画(事業計画)」 *1	経営計画・事業計画の基本的な考え方と、作成時の留意点を解説	-	-	●
起業マニュアル「事業計画書をつくる」 *5	事業の概要や優位性、ヒト・モノ・カネを踏まえた実行計画の書き方を解説	-	-	●
マンガでわかる「マーケティングの4P」 *1	製品・価格・販路・販促の4軸で事業計画を整理する手法を解説	-	-	●
マンガでわかる「市場調査」 *1	競合分析の進め方・差別化ポイントのを見つけ方を解説	-	-	●

【出典】

*1 独立行政法人中小企業基盤整備機構 補助金活用ナビ

*4 経済産業省ホームページ

*2 出典：経済産業省 ミラサポplusホームページ *3 出典：中小企業庁ホームページ

*5 出典：独立行政法人中小企業基盤整備機構 J-Net21 経営課題を解決する羅針盤

改訂履歴

改訂履歴

バージョン	改訂日	項目	内容
1.0	2026/9/30	－	初版発行